



より美しく、より強く、より永く、トタン屋根を保護します

超光沢 アクリルトタン用 油性速乾 30分

●必ず缶の底の隅々までよくかき混ぜてご使用ください。

うすめる液	
ペイントうすめ液またはアクリルトタン用うすめ液	
乾燥時間	
約 30 分 (20℃)	冬期 約 1 時間
標準塗装面積 (1回塗り)	
約 47~57 m ² (シルバーは50~62m ²)	タタミ 約 31 枚分

高耐候アクリル樹脂塗料

屋根、ひさし、塀などのカラートタン板、スチール雨戸、門扉、シャッター、フェンス、鉄部・木部に最適

特長

- 雪国 / 寒冷地に最適
- 酸性雨、排ガス、塩害にも強い
- 速乾で作業性が良い
- 長期間トタン屋根を保護

3L

カンペハピオ

アクリルトタン用

注意事項：塗料を正しく使っていただくため、必ずお読みください。

塗装上の注意

- 有機溶剤が含まれていますので塗装作業中、乾燥中とも換気をよくして、充分に乾燥してください。
- 気温 5℃以下、雨天、湿度の高い (85%以上) 時、および風が強い日には塗らないでください。結露する季節は早め (午後 3 時頃) に塗り終わってください。
- 目立たないところで試し塗りし、色や仕上がりを確認してください。
- 汚れても差し支えない服装で作業し、手袋や保護眼鏡などを着用してください。
- 皮膚に付いた塗料はすぐにペイントうすめ液で拭き取り、石けん水で洗ってください。
- 高い所を塗る時は必ず安全ベルトやロープを使い、安全を確認してから塗ってください。
- シリコン樹脂、フッ素樹脂などの特殊防水処理を施した面や、コーキング材、シーリング材の一部には塗料が付着しない場合がありますので、試し塗りして付着の程度を確認してください。
- 一度に厚く塗り過ぎないでください。
- 新しいトタンは塗料の付着が悪いので、半年ぐらい放置後、表面のキラキラが無くなってから当社のさび止め塗料 (水性または油性) を下塗りし、充分乾燥後本品を上塗りします。
- カラートタンの塗替えでまだツヤが残っている場合、旧塗膜の表面につやがある場合や白い粉が付く状態の塗膜は、付着性をよくするためにワイヤーブラシまたはサンドペーパーで表面を荒らし、粉をよく掃除してから塗ってください。
- 特殊アクリル樹脂を使用しているのもので他の塗料と混合しないでください。
- 塗装直後の色と乾燥後の色では多少違いがあります。後日に塗り継ぎをする場合には、区切りのよい箇所です塗り終わってください。
- 電動スプレーなどで吹き付け塗装するときは霧を吸い込まないように注意してください。
- コールトールの上には塗らないでください。
- うすめる場合は、当社の「アクリルトタン用うすめ液」または、「ペイントうすめ液」でうすめます。(5%以内)
- 指定のうすめ液以外でうすめないでください。
- 火気のあるところでは塗らないでください。

取扱い上の注意

- やむを得ず塗料を捨てる時は、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分するか、当社の「残塗料処理剤」を使用します。
- 塗装本来の目的以外には使用しないこと。
- 指定のうすめ液以外でうすめないこと。
- 取っ手にロープをかけての持ち運びは厳禁。

保管上の注意

- 子供の手が届かない所に保管し、誤飲、誤食をしないよう注意すること。
- 塗料はふたを完全にし、容器のさびやすい所、直射日光が当たる場所を避けて冷暗所に保管すること。火気の近くでの保管厳禁。

救急処置

- ★目に入ったとき：多量の水で充分に洗い、できるだけ早く医師の診察を受けること。
- ★手や肌に付着したとき：石けん水でよく洗い流し、痛みや皮膚に変化等があるときには、医師の診察を受けること。
- ★誤って飲み込んだとき：無理に吐き出さず、すみやかに医師の診察を受けること。
- ★気分が悪くなったとき：作業を中止し、空気の清浄な場所で安静にすること。



お問い合わせ先 カンペハピオお客様相談室

☎0120-167167

株式会社カンペハピオ

大阪市中央区今橋2-6-14

ホームページ <http://www.kanpe.co.jp>

商品名：アクリルトタン用

001

塗装方法 / トタンの場合 (手袋を着用)



■はがれかけの塗膜やこけカビは皮スキ、ワイヤーブラシなどでよく落とし、つやのある旧塗膜はサンドペーパーで表面をあらします。

■塗る面のさびはワイヤーブラシなどで落とし、油汚れも同時にペイントうすめ液を含ませたウエスで拭き取る。ゴミ、泥などの汚れや、拭くと白い粉が付く塗膜はデッキブラシなどで水洗し、充分に乾燥させます。

■高圧洗浄機を使うと効率的です。

■雨樋や破風板などの塗らない部分や境目はマスキングテープ、ポリマスカークや新聞紙でカバーします。ポリマスカークはビニールシートとマスキングテープが一体化したもので非常に便利です。

■高い所を塗るときは、塗料が飛び散ることがあるので、事前に周辺にある車などを移動しておきます。



■トタン板にできた釘穴や建物との境にできたすき間などは建物用コーキング材などで埋めておきます。(塗料の塗れないコーキング材もあるので要注意)



■鉄の生地・亜鉛メッキ部・白さびが出た所およびさびやすい所はあらかじめ当社の当社のさび止め塗料 (水性または油性) を部分塗りしておきます。



■開缶前に缶を逆さにして揺すり、容器のふたに手を添えてマイクストライパーで開け底の隅々まで充分にかき混ぜます。

■ハケまたはローラーバケ塗りの場合、塗料の粘度が高く塗りにくいときは、「アクリルトタン用うすめ液」または、「ペイントうすめ液」でうすめます。(5%以内) スプレー塗装の場合は約10~30%うすめます。



■塗装順序は上から下へ、最後にはごにたどり着くように逃げ道をつくりながら塗ります。(高所落下注意)

■下塗り乾燥後小バケで隅や塗りにくい所から先に塗り、その後トタンバケやローラーバケを使って仕上げます。1回塗りで仕上がりますが、2回塗る方が丈夫で長持ちします。



■広くて平らな面はローラーが便利です。ローラーを受け皿の上で数回ころがしてたっぷり塗料を含ませ、一度に塗れる面積の目安をつけて「くぼり塗り」し、その後一度ローラーを受け皿に戻し、塗料の含み具合を調節して上下に一緒に塗り広げます。(上塗り塗後、マスキングテープは塗膜が手につかなくなった場合に内側に向けてゆっくりはがします)



■使い終わったハケや用具は新聞紙などで拭き取り、すぐに「ペイントうすめ液」または、「アクリルトタン用うすめ液」でよく洗い、さらに中性洗剤入りのお水で洗い、陰干し後ビニール袋に入れ保管します。

スチール缶 中身を使い切ってから捨ててください。

- 容器の色表示は、中身の色と多少異なることがあります。
- 乾燥時間、塗り面積の表示は気象条件、塗る素材、形状、塗り方、うすめ方によって多少異なります。
- シルバーは乾燥後でもこするとアルミ粉が付着することがあります。